

社会福祉法人青梅市社会福祉事業団 令和3年度事業報告

青梅市から指定管理者として受託運営している青梅市自立センターにおいては、福祉サービスを必要とする障害者等に対し、環境や年齢および障害の状況に応じた支援サービスを提供するという施設の設置目的に基づき、利用者様の個々の障害特性等に応じた支援サービスの提供に努めております。

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症対策については、東京都や青梅市の補助を受けながら必要な対策を講じました。

施設面では、抗菌・非接触・換気等の改善を目的に、トイレ、洗面・手洗い、空調設備、厨房床の改修工事を行なうとともに、各部屋に網戸とパーティションを新設し、備品類については非接触体温計、パルスオキシメーターを購入し、利用者様および職員の感染防止に努めました。

PCR検査については「青梅市介護・障害福祉サービス事業所におけるPCR検査事業」により利用者様および職員とも6回実施し、抗原検査については、利用者様用に検査キットを購入し、必要に応じての安全安心の確認を行なうとともに、職員については都の「通所系・訪問系の障害福祉サービス等事業所の従事者を対象とした、抗原定性検査による集中的検査事業」を活用し、健康観察を継続しました。

また、利用者様のワクチン接種については1回目から3回目まで診療機関の巡回により自立センター内で実施し、職員については、1、2回目は職域接種として市立総合体育館で、3回目は利用者様とともに自立センター内で接種し、感染防止に努めました。

しかしながら、令和4年2月2日に利用者様1名が発熱し抗原検査の結果、陽性を示したため、西多摩保健所に報告後、青梅市と協議の上、感染拡大防止の観点から就労支援事業所は令和4年2月3日から2月9日まで、生活介護事業所は2月10日まで自立センターの利用を停止しました。

各種の事業においては、運動会やふれあいの集い、家族会主催の新年会といった大きな行事は開催を見送り、その他については、感染防止を前提に可能な範囲の中で内容の見直しを図りながら実施に努めました。

法人の理事会や評議員会については書面による決議省略の方式により開催、福祉公開講座等は中止、ボランティアの受入れを停止するなど外部の方との接触機会を抑制、内部の会議についても可能な範囲内で書面での対応を図りました。

法人の独自事業である特定・障害児相談支援事業所「じりつ」については、前年度に引き続き、計画相談支援体制の充実とサービスの向上に努めました。

その他、令和3年度の新規取組みとして、職員を対象に産業カウンセラーによるカウンセリングを実施し、延べ24人が受け、メンタルヘルス対応を図りました。

また、利用者様の送迎に利用している老朽化した福祉車両については、日本財団福祉車両助成事業に応募し、決定を受け、1台を更新することができました。

I 事業団事務局

1 名称 社会福祉法人青梅市社会福祉事業団

- 2 設 立 平成5年3月29日東京都知事認可
 3 住 所 東京都青梅市今井5丁目2434番地の2
 4 電 話 0428-32-1631 (事務局、指導課および自立センター)
 F A X 0428-32-6289 (")
 5 運 営

青梅市から受託した青梅市自立センターの各事業所ならびに特定・障害児相談支援事業所「じりつ」の経営を円滑に実施するため、事業所間相互の有機的連携と、これらの事業所に対し中核的な機能を果たすように努めた。

6 役員、評議員、評議員選任・解任委員、第三者委員および職員

(1) 役 員

理事6名 監事3名 (別表第1-1のとおり)
 任期2年 (令和3年度の定時評議員会の終結の時から
 令和5年度の定時評議員会の終結の時まで)

(2) 評 議 員

7名 (別表第1-1のとおり)
 任期4年 (令和3年度の定時評議員会の終結の時から
 令和7年度の定時評議員会の終結の時まで)

(3) 評議員選任・解任委員

3名 (別表第1-2のとおり)
 任期4年 (令和2年度の定時評議員会の終結の時から
 令和6年度の定時評議員会の終結の時まで)

(4) 第三者委員

2名 (別表第1-3のとおり)
 任期2年 (令和3年4月1日から令和5年3月31日まで)

(5) 職 員 4名

事務局長 1名 (常務理事兼務)
 係 長 1名
 主 事 2名

7 理事会

理事会は、業務決定機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	5月27日 -決議省略-	1 理事の選任について (報告事項) 2 監事の選任について (報告事項) 3 評議員の選任について (報告事項) 4 令和2年度事業報告および決算報告 5 専決処分の承認 6 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦 7 理事候補者の評議員会への推薦 8 監事候補者の評議員会への推薦 9 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦 10 令和3年度第1回評議員会の招集について

		11 理事長の職務執行状況の報告 12 常務理事の職務執行状況の報告 (同意者 理事6名 監事3名)
2	6月28日	1 評議員選任・解任委員会の委員長の選出について(報告事項) 2 評議員の選任について(報告事項) 3 理事の選任について(報告事項) 4 監事の選任について(報告事項) 5 理事長の選定 6 常務理事の選定 (出席者 理事6名 監事3名)
3	1月11日 -決議省略-	1 専決処分の承認 2 理事候補者の評議員会への推薦 3 令和3年度第2回評議員会の招集について (同意者 理事6名 監事3名)
4	2月25日 -決議省略-	1 青梅市自立センター利用者様等の新型コロナウイルス感染について(報告事項) 2 令和3年度資金収支補正予算 3 令和3年度第3回評議員会の招集について (同意者 理事6名 監事3名)
5	3月28日 -決議省略-	1 旅費規程の一部を改正する規程 2 職員給与規程の一部を改正する規程 3 職員退職手当支給規程の一部を改正する規程 4 嘱託職員の雇用等に関する規則の制定 5 嘱託職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の制定 6 嘱託職員の賃金、手当等に関する支給規程の制定 7 令和4年度事業計画および資金収支当初予算 8 令和3年度第4回評議員会の招集について 9 理事長の職務執行状況の報告 10 常務理事の職務執行状況の報告 (同意者 理事6名 監事3名)

8 評議員会

評議員会は、重要な業務決定事項の諮問機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	6月28日 -決議省略-	1 事務局長の任命について(報告事項) 2 第三者委員の選任について(報告事項) 3 常務理事の指名について(報告事項) 4 評議員選任・解任委員の選任について(報告事項) 5 評議員の選任について(報告事項) 6 評議員選任・解任委員会の委員長の選出について(報告事項) 7 評議員の選任について(報告事項) 8 令和2年度事業報告および決算報告 9 理事の選任

		10 監事の選任 (同意者 評議員 7名)
2	1月27日 -決議省略-	1 理事の選任 (同意者 評議員 7名)
3	3月10日 -決議省略-	1 青梅市自立センター利用者様等の新型コロナウイルス感染 について(報告事項) 2 令和3年度資金収支補正予算 (同意者 評議員 7名)
4	3月30日 -決議省略-	1 令和4年度事業計画および資金収支当初予算 (同意者 評議員 7名)

9 連絡・調整

各事業所および青梅市との連携を緊密にし、事業計画、予算・経理・決算、事業報告、人事その他運営一般に関する事項等、理事会の方針の周知徹底を図った。

10 監査会

第回	期 日	概 要
1	5月19日	令和2年度の理事の職務の執行について監査を実施した。 (出席者 監事 3名)

11 評議員選任・解任委員会

第回	期 日	概 要
1	6月 2日 -持回決議-	1 委員長の選出 2 評議員の選任 3 評議員の選任 (同意者 委員 3名)

12 中期計画

当事業団は、5年後における事業団のあるべき姿を表し、職員が一致協力して業務を遂行し、支援の充実と、安全・安心の確立を図った。

さらに、国の動向を注視していくとともに、事業団として可能性があるものについて検討した。

(1) 期 間 令和元年度から5か年間

(2) 内 容 (令和3年度)

ア 事業関係

(ア) 特定・障害児相談支援事業所「じりつ」

a 今年度は計画相談127件、計画相談(モニタリング)93件を実施した。

(イ) 青梅市自立センター

a 事業の充実について

利用者の状況に合わせて、個別支援などの充実を図った。継続して検討していく。

イ 利用者関係

(ア) 行事

全体行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、運動会・ふれあいの集いを共に中止とした。部門行事については、近場でのドライブや外出はせず所内での代替内容として実施した。なお、全体行事については、今後も委員会で検討を継続していく。

(イ) 送迎サービス

送迎業務については、業者委託によるバス4台と、職員による小型リフト車2台と、2月より小型車1台を増車し運行を実施した。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、引き続き自主通所者に於いても送迎バスを利用する対応を行ってきたが、11月より自主通所を再開できる状況にまで感染者が減少してきたため、自主通所を希望される方のみ再開をし、その他の方は継続して送迎バスを利用する対応を行った。また、利用者の車椅子での乗降の増加、乗降場所の変更など状況の変化に応じて検討した。

(ウ) 家族の参画

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個別面談・班別懇談会・保護者参観は中止となった。全体懇談会においては実施せず書面での報告となった。

ウ 職員関係

(ア) 年度目標の設定と自己評価

年度目標の設定と自己評価を行い、職員のスキルアップに向けて意識改革に努めた。さらに振り返りができるようにしていく。次年度においては内容を変更していく。

(イ) 給食について

嗜好調査を実施し、アレルギーの確認やリクエスト食など参考にし、給食については会議にて話し合い、食中毒等の事故をおこすことなく食事の提供が行えた。職員体制については、継続して検討していく。

(ウ) 文書管理システムの構築

文書管理委員会において、前年度に文書管理規程の保存期間の見直しや、新たな分類項目等について検討を行い文書規定の見直しを進め改定したので、文書類を精査した。

(エ) 委員会の設置

今年度については、内容を検討して次年度の作成時に反映させた。

エ 防災・防犯関係

(ア) 防災について

自衛消防訓練を継続し訓練を重ねたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、避難誘導想定訓練に置き換え、感染予防に配慮した対応で実施した。災害後の事業再開計画（BCP）については、青梅市の災害計画を基に連携を取りながら検討していく。

(イ) 防犯について

不審者対策など、安全面での整備については、次年度、防犯カメラの設置を行っていく。

13 事業団職員数および職員配置

職 員 51名

職員配置 別表第2のとおり

別表第1-1

役員および評議員名簿

令和4年3月31日現在

	フリガナ 氏 名	就任年月日	任 期	職 業 等
理事長	イケダ ヒロシ 池田 央	令和3年6月28日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	元青梅市副市长
副理事長	マスタ ヒロシ 増田 博司	令和4年1月27日	自 令和4年1月27日 至 令和5年度 定時評議員会終結時	青梅市健康福祉部長
常務理事	シマザキ マサユキ 島崎 昌之	令和3年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団事務局長
理 事	カネコ リヨシ 金子 典由	平成30年8月27日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉協議会会長
理 事	ウチヤマ サトシ 内山 敏	令和3年6月28日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人友愛学園 事務局長
理 事	マシコ マスミ 増子 ますみ	令和2年6月25日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会会長
監 事	ヤタベ マサヒサ 谷田部 祐久	令和3年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
監 事	マチダ チョウセイ 町田 長生	令和元年6月27日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	税理士
監 事	サンダ オサム 指田 修	平成29年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和5年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団元役員
評議員	フジモト トシミ 藤本 稔巳	令和元年5月23日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人天使園 特別養護老人ホーム 青梅天使園施設長
評議員	ミズムラ クニオ 水村 邦男	令和2年3月11日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市民生児童委員合同 協議会理事
評議員	タカハシ ヒロユキ 高橋 宏幸	令和3年6月2日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自治会第11支会 支会長

評議員	カゲヤマ マサカズ 影山正和	平成23年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	今井五丁目自治会顧問
評議員	ミサワ ミユキ 三澤美由紀	令和2年5月29日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会副会長
評議員	ハナシロ ミチコ 花城充子	令和3年6月2日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会副会長
評議員	スザキ ミノル 須崎実	令和3年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市 障がい害者福祉課長

別表第1-2

評議員選任・解任委員名簿

令和4年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
評議員選任・ 解任委員	ヤタベ マサヒサ 谷田部 祐久	令和3年4月1日	自 令和3年4月1日 至 令和6年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
評議員選任・ 解任委員	タカノ トシミ 高野 敏巳	平成29年2月24日	自 令和2年度 定時評議員会終結時 至 令和6年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団指導第二課長
評議員選任・ 解任委員	オカモト トミオ 岡本 富郎	令和2年6月25日	自 令和2年度 定時評議員会終結時 至 令和6年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団第三者委員

別表第1-3

第三者委員名簿

令和4年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
第三者委員	オカモト トミオ 岡本 富郎	令和2年2月20日	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日	元青梅市障害者 サポートセンター施設長
第三者委員	ハラ トシオ 原 俊雄	令和3年4月1日	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日	元養護学校教諭

別表第2

職員配置表

令和4年3月31日現在

事務局 (本部)				※ 実数 4名
(事務局 長)	島崎 昌之	(常務理事兼務)		
(係 長)	伊藤 栄治			
(主 事)	長谷川 晋	本木 明美		
指導第一課				※ 実数 11名
(課 長)	藤野奈穂美	(就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務)		

(課長補佐)	大栗重幸	(就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務)	
(係長)	井上あゆみ	(就労移行サービス管理責任者兼務)	
	櫻木真人	(就労継続サービス管理責任者兼務)	
	原島康二		
(嘱託医)	瀧川牧人		
(看護師)	小池絵美		
(栄養士)	下笹由紀子		
(交替制調理員)	宮本洋子	安室幸代	高久理恵
指導第二課			※ 実数 4名
(課長)	高野敏巳	(生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管理者兼務)	
(課長補佐)	西ヶ谷薫	(生活介護事業所副管理者、生活介護サービス管理責任者兼務)	
(係長)	大野孝行	島津聡子	
就労支援事業所(就労移行支援)			※ 実数 2名
(管理者)	藤野奈穂美	(課長兼務・指導第一課所属)	
(副管理者)	大栗重幸	(課長補佐兼務・指導第一課所属)	
(サービス管理責任者)	井上あゆみ	(係長兼務・指導第一課所属)	
(就労支援員)	茂木洋明		
(職業指導員)	浅井愛	(生活支援員兼務)	
(生活支援員)	浅井愛	(職業指導員兼務)	
就労支援事業所(就労継続支援B型)			※ 実数 10名
(管理者)	藤野奈穂美	(課長兼務・指導第一課所属)	
(副管理者)	大栗重幸	(課長補佐兼務・指導第一課所属)	
(サービス管理責任者)	大栗重幸	(課長補佐兼務・指導第一課所属)	
(サービス管理責任者)	櫻木真人	(係長兼務・指導第一課所属)	
(主事)	伊藤栄治	(係長兼務・事務局所属)	
	本木明美	(事務局所属)	
(職業指導員)	櫻木真人	(係長兼務・指導第一課所属)	
	須崎浩文	皆川香	坂本文代
	庭野美千代		土方宏子
(生活支援員)	原島康二	(係長兼務・指導第一課所属)	
	山本そのみ	(相談支援専門員兼務)	
	田中泰行	八木美和	鮫島留津子
(栄養士)	下笹由紀子	(指導第一課所属)	
(調理員)	朱通秀代		
生活介護事業所(生活介護)			※ 実数 15名
(管理者)	高野敏巳	(課長兼務・指導第二課所属)	
(副管理者)	西ヶ谷薫	(課長補佐兼務・指導第二課所属)	
(サービス管理責任者)	西ヶ谷薫	(課長補佐兼務・指導第二課所属)	
(主事)	長谷川晋	(事務局所属)	
(生活支援員)	大野孝行	(係長兼務・指導第二課所属)	
	島津聡子	(係長兼務・指導第二課所属)	
	篠原初美	(相談支援専門員兼務)	

	小山 克之 (相談支援専門員兼務)			
	川杉ひろみ	原島 秀子	茂木 純子	吉原 愛典
	榎本恵一郎	佐野 萌	白取 督康	長谷見純一
	峯邑 尚子	横川 良恵	稀代英津子	
(看 護 師)	小池 絵美 (指導第一課所属)			
(臨 時 調 理 員)	遠藤美保子			
(臨 時 運 転 手)	高柳 忠昭			
福祉農園				※ 実数 5名
(作 業 員)	久保田栄一	志村 英明	久保田義弘	町田 芳信
	吉田 伸男			
特定・障害児相談支援事業所 (特定相談支援・障害児相談支援)				※ 実数 0名
(管 理 者)	藤野奈穂美 (課長兼務・指導第一課所属)			
(副 管 理 者)	高野 敏巳 (課長兼務・指導第二課所属)			
(相 談 支 援 専 門 員)	篠原 初美 (生活支援員兼務・生活介護所属)			
	小山 克之 (生活支援員兼務・生活介護所属)			
	山本そのみ (生活支援員兼務・就労継続支援B型所属)			

II 事業団指導第一課

指導第一課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター就労支援事業所と、障害者総合支援法および児童福祉法にもとづく事業所である特定・障害児相談支援事業所「じりつ」を所管、利用者を取り巻く様々な環境の的確な把握や、これまで実践してきた支援内容の評価・検証の積み上げを図る等により、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスを提供した。利用者や家族等からの相談・苦情等については、今年度、利用者支援に関する苦情1件を受けたため、円満な解決に向けて対応している。

また、自立センターで提供する給食サービスでは、利用者の嗜好や栄養のバランスおよび安全性に配慮した栄養管理業務を行った。

さらに、自立センターの火災の予防および火災、地震その他の災害等による人命の安全および被害の軽減に向けた訓練を実施した。

1 職 員	11名
課 長	1名 (就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務)
課 長 補 佐	1名 (就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務)
係 長	1名 (就労移行サービス管理責任者兼務)
	1名 (就労継続サービス管理責任者兼務)
	1名
嘱 託 医	1名
看 護 師	1名
栄 養 士	1名
交替制調理員	3名 (交替制調理員は、就労移行、就労継続および生活介護に各

1名配置)

Ⅲ 事業団指導第二課

指導第二課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター生活介護事業所を所管、利用者を取り巻く様々な環境の的確な把握や、これまで実践してきた支援内容の評価・検証の積み上げなどにより、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスの提供に努めるとともに、利用者や家族等からの相談・苦情等について、適切かつ円滑・円満な対応に努めた。

また、利用者の医療については、個々のニーズが多種多様であるため、外部医療機関や嘱託医および看護師との連携を図りながら職員の医学的知識を高め、緊急診療や急性疾患に対する発見・処置を適切に行えるよう保健衛生の推進・充実にあたるとともに、事業所内における医療的ケア（吸引）を実践した。

さらに、運営基本方針の周知徹底や事業所間の連絡調整、職員研修の実施などにより、職員のスキルアップおよび業務の円滑な遂行等に努めた。

1 職員	4名
課長	1名（生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管理者）
課長補佐	1名（生活介護事業所副管理者兼務、生活介護サービス管理責任者兼務）
係長	2名

Ⅳ 青梅市自立センター

就労支援事業所では、障害者総合支援法にもとづき、原則として18歳以上の一般就労を希望する障害者に対して、定められた期間にわたり職場実習の提供、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、一般企業等への就職に必要な知識および能力の向上のための訓練等を行った。また、一般企業に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を継続して提供するとともに、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の向上に向け訓練等を行った。

生活支援事業所では、18歳以上で常時何らかの介護が必要な障害者に対し、日常生活支援を中心に社会適応支援・創作活動や生産活動への支援やリハビリ支援の提供を行い日常生活行動の充実を図った。

1 事業所概要	
敷地	9,070㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階（一部3階）建
建物・定員	
就労支援事業所	1767.78㎡
就労移行支援	6名
就労継続支援B型	74名
生活介護事業所	1524.20㎡
生活介護	35名

2 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 在籍利用者数

種 別	男 性	女 性	合 計
就労移行支援	4名	2名	6名
就労継続支援B型	47名	22名	69名
生活介護	19名	14名	33名
合 計	70名	38名	108名

(2) 入退所者

入 所 者 0名

退 所 者 1名 (男性1名)

※ 自立センター内の契約変更者、3月31日付退所者を除く。

(3) 手帳所持者数

愛の手帳所持者 男性58名 女性34名 合計92名

身障手帳所持者 男性31名 女性19名 合計50名

精神手帳所持者 男性 1名 女性 3名 合計 4名

(4) 全体平均年齢

男性42.2歳 女性42.6歳 全体42.3歳

3 青梅市自立センターの主な行事等

期 日	主 な 行 事	場 所
4月1日	新規職員1名(調理員)	自立センター
4月1日	契約変更者5名(移行から継続2名、継続から移行3名)	〃
4月1日	青梅市社会福祉事業団新年度事業開始 利用者 就労支援事業所 就労移行支援 現員 6名 就労継続支援B型 現員 70名 生活介護事業所 生活介護 現員 33名 合計 109名	〃
4月1日	新年度事業準備(利用者春季休業)	〃
4月2日	年度始め式	〃
5月31日	退職者1名(調理員)	〃
6月28日~7月5日	ぶどう笠かけ作業期間(期間中延べ4日間・87名参加)	〃
7月2・8日	就労部門夏季レクリエーション会(オリジンバイキング他)	〃
7月9日	生活部門夏季レクリエーション会(ピエモンテお弁当他)	〃
7月28日	退所者1名(他施設)	〃
8月24・25日	ぶどう収穫祭(ワイン用ぶどう2,495kgを収穫・104名参加)	〃
9月17日	生活部門バスハイク代替レクリエーション会(ドライブ他)	青梅市内
9月24日	胸部レントゲン撮影実施	自立センター
10月8日	心電図検査実施(40歳以上・41名実施)	〃
10月19日~	新型コロナウイルス感染症対策施設改修工事	〃
3月23日	(空調、網戸、トイレ、厨房等)	
10月22日	退職者1名(事務員)	〃
11月24日	第三者委員の活動(受入れから通常活動視察)	〃
12月3~9日	青梅ハート展示会(自主生産品の展示・即売・即売:6日)	青梅市役所
12月3日	生活部門冬季レクリエーション会(セカンドキッチンお弁当他)	自立センター
12月9・10日	就労部門冬季レクリエーション会(トンきち屋お弁当他)	〃
12月29日~	冬季休業	〃
1月3日		
2月3~9日	就労部門臨時休業(新型コロナウイルス感染拡大防止措置)	〃

2月3～10日	生活部門臨時休業（新型コロナウイルス感染拡大防止措置）	自立センター
2月28日	退職者1名（支援員）	〃
3月4・11日	就労部門日帰旅行代替レクリエーション会（複数店舗ケータリング食事）	〃
3月31日	日本財団福祉車両助成事業によりキャラバン（車いす対応）納車	〃
3月31日	退所者（入院）	〃
3月31日	退職者2名（調理員1名・運転手1名）	〃
3月31日	令和3年度事業終了	〃
毎月	幹部会議	〃
毎月	職員会議（各部門）	〃
毎月	厨房給食会議	〃
毎月	健康診断（総合健康診断年2回含む）	〃
毎月	機能訓練『理学療法・作業療法』	〃
毎月	工賃配分（就労）	〃
毎月	班別活動（生活）	〃
毎月	音楽活動（生活）	〃
隔月	係長会議	〃
隔月	現場調整会議	〃
隔月	自衛消防訓練（自衛消防総合訓練年1回含む）	〃
隔月	利用者放談会（就労）	〃
随時	利用者および職員PCR検査（6回）	〃
随時	利用者および職員抗原検査	〃
随時	職員研修（オンラインWeb研修含む）	研修センター等
随時	支援会議	自立センター
随時	班別会議	〃
随時	個別支援検討会議	〃
随時	評定会議（就労）	〃
随時	ケース会議（生活）	〃
随時	危機管理委員会	〃
随時	職員倫理委員会	〃
随時	業務標準化マニュアル検討委員会	〃
随時	送迎業務検討委員会	〃
随時	サービス向上委員会	〃
随時	作業に関する検討委員会	〃
随時	パソコン管理委員会	〃
随時	研修担当	〃
随時	ボランティア担当	〃
随時	医療的ケア実施検討委員会	〃
随時	運動会検討実行委員会	〃
随時	ふれあいの集い検討実行委員会	〃
随時	文書管理委員会	〃
随時	新型コロナウイルス感染症対策委員会（臨時）	〃
随時	機関紙「自立」の発行	〃
随時	産業カウンセラーによる職員へのカウンセリングの実施（8回、延べ24人）	〃
年4回	青梅市担当課と幹部との合同会議（書面開催含む）	〃
年4回	家族会役員と幹部との合同会議（書面開催含む）	〃
年1回	武州交通興業との合同会議	〃
年6回	クラブ活動（就労）	〃
年4回	課外活動（生活）	ドライブ等
年5回	ゆとりの時間（生活）	自立センター
年4回	作業褒賞（生活）	〃
年1回	事業団機関誌「ふれあい」第22号発行	社会福祉事業団

4 就労支援事業所

(1) 就労移行支援

ア 定員と職員

定員(実数)	6名(6名)
職員(実数)	6名(2名)
管理者	1名(課長兼務・指導第一課所属)
副管理者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(係長兼務・指導第一課所属)
就労支援員	1名
職業指導員	1名(生活支援員兼務)
生活支援員	1名(職業指導員兼務)

イ 障害の程度と年齢(人数)

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性		2	2		4						0
女性			1	1	2						0
計	0	2	3	1	6	0	0	0	0	0	0

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~	計
男性		1	1		1		1				4
女性				1			1				2
計	0	1	1	1	1	0	2	0	0	0	6

平均年齢 男性33.5歳 女性40.6歳 全体35.8歳

(2) 就労継続支援B型

ア 定員と職員

定員(実数)	74名(69名)
職員(実数)	20名(10名)
管理者	1名(課長兼務・指導第一課所属)
副管理者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(係長兼務・指導第一課所属)
主事	1名(係長兼務・事務局所属)
	1名(事務局所属)

臨時事務員 1名（事務局所属）
 職業指導員 6名（うち1名係長兼務・指導第一課所属）
 生活支援員 5名（うち1名係長兼務・指導第一課所属、1名
 相談支援専門員兼務）
 栄養士 1名（指導第一課所属）
 調理員 1名

イ 障害の程度と年齢（人数）

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性		9	22	5	36	10	8	2			20
女性		5	10	4	19	1	4	3	1	1	10
計	0	14	32	9	55	11	12	5	1	1	30

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性			1		1
女性	1	1	1		3
計	1	1	2	0	4

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性		2	6	5	4	7	6	8	6	3	47
女性				1	7	7	1	4	1	1	22
計	0	2	6	6	11	14	7	12	7	4	69

平均年齢 男性43.9歳 女性44.2歳 全体44.0歳

5 生活介護事業所

(1) 生活介護

ア 定員と職員

定員（実数） 35名（33名）
 職員（実数） 22名（15名）
 管理者 1名（課長兼務・指導第二課所属）
 副管理者 1名（課長補佐兼務・指導第二課所属）
 サービス管理責任者 1名（課長補佐兼務・指導第二課所属）
 主事 1名（事務局所属）
 生活支援員 4名（うち2名係長兼務・指導第二課所属、2名
 相談支援専門員兼務）
 11名
 看護師 1名（指導第一課所属）
 臨時調理員 1名

臨時運転手

1名

イ 障害の程度と年齢（人数）

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性	1	17			18	7	1	1	1	1	11
女性	3	10			13	5	3		1	0	9
計	4	27	0	0	31	12	4	1	2	1	20

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性			4	3	2	5	2	1	2		19
女性			3	1	3	3	1	1	2		14
計	0	0	9	4	5	8	3	2	4	0	33

平均年齢 男性39.8歳 女性40.4歳 全体40.0歳

ウ 福祉公開講座

講座内容	講師	開催回数	参加延人員	備考
音楽療法	吉野 良子 氏	10回	151名	2月は新型コロナウイルス感染症対策のため、3月は生活介護事業所で陽性者が判明したため中止した。
ビーズアクセサリ	明田川冬子 氏	0回	0名	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
折紙教室	加藤 和子 氏	0回	0名	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

6 自立センター就労支援事業および作業支援事業

○ 就労支援事業

受託作業

ベアリング等車両部品組立

寝装具類包装・梱包

返礼品の包装・組立

不動産事業者の賃貸物件等清掃・除草

福祉施設清掃業務、自立センター清掃業務受託

青梅市内公園清掃業務受託

レントゲンフィルムの分別作業

- 自主生産作業 印刷：封筒・名刺等の印刷
 木工：各種木工芸品の製作と販売
 陶芸：和陶器の製作と販売
 農園：ワイン用ぶどうの栽培
 リサイクル：牛乳パックリサイクル品販売
 青梅市役所喫茶コーナー運営への参画
- 就労支援 総合体育館受付業務実習（3名）
 青梅市役所喫茶コーナー業務実習（1名）
- 作業支援事業 牛乳パック手すきハガキの製作
 ビーズクラフト製品の製作
 自動車部品加工
 菓子箱の仕切り折り
 食品ビニール袋のシール貼り
 ワイン用ぶどうの栽培作業協力

7 自立センター福祉農園事業

- (1) 職員 作業員5名
 (2) 作業内容 ワイン用ぶどうの管理・栽培

8 成木2丁目ぶどう植樹地管理事業

- (1) 管理場所 青梅市成木2丁目416番地の1
 (2) 管理内容 葡萄の木の育成管理
 (3) 管理方法 成木農業者振興会へ委託
 (4) 管理日数 延べ36日
 (5) 管理人員 延べ472名

9 事故報告

報告内容	件数	備考
施設設備損壊	5件	
什器破損	6件	
公用車両破損等	4件	
その他	1件	利用者私物破損
支援以外の内容	5件	セコムセンサー異常 信号・不審者の館内 侵入等
業務中のケガ（支援員）	1件	労働者災害補償保険 適用
年間合計報告件数	22件	

V 特定・障害児相談支援事業所「じりつ」（特定相談支援・障害児相談支援）

特定・障害児相談支援事業所「じりつ」が行う特定相談支援事業および障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために人員および管理運営に関する事項を定め、事業所の職員が、障害者、障害児および保護者に対し、適正な特定相談支援および障害児相談支援が行えるよう努めた。

1 対象者

- (1) 18歳以上の障害者（知的障害者・身体障害者・精神障害者・難病対象者）
- (2) 18歳未満の障害児（知的障害児・身体障害児）

2 職員（実数）

	5名（0名）
管理者	1名（課長兼務・指導第一課所属）
副管理者	1名（課長兼務・指導第二課所属）
相談支援専門員	2名（生活支援員兼務・生活介護所属）
	1名（生活支援員兼務・就労継続支援B型所属）

3 利用状況

- (1) 計画相談 127件
- (2) 継続支援（モニタリング） 93件
- (3) 対象者別利用状況

ア 18歳以上の障害者

	計画相談	継続支援(モニタリング)
自立センター	74件	77件
上記以外	16件	9件
合計	90件	86件

イ 18歳未満の障害児

	計画相談	継続支援(モニタリング)
合計	37件	7件